

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	112	施策	人権の保障
管理事業	人権事業	所管部局	市民部

1	所管 室課	人権政策室	事業名	人権啓発事業	
事業概要					
市民ひゅーまんセミナー、人権啓発パネル展、吹田市人権啓発推進協議会活動補助、人権週間啓発、その他人権啓発					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
(1) 啓発講演会参加人数 令和3年度…735人、令和2年度…572人、令和元年度…1,365人		決算額（千円）	3,653	4,634	
(2) 吹田市人権啓発推進協議会活動補助 地域に密着した人権啓発活動を行うために、補助金を交付した。 啓発活動参加人数 令和3年度…3,018人、令和2年度…1,458人、令和元年度…56,500人		一般財源の比率（％）	76.7	89.0	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き、事業の実施方法や情報発信の手法を検討しながら実施する。
令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの事業が縮小・中止となったが、オンライン配信という手法を新たに取り入れた講演会では、多くの参加を得られた。その他、人権啓発パネル展、人権啓発物品の作製、人権カレンダーの作製、配布による啓発を行った。		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			
		多くの市民への啓発や情報発信を進める必要があり、SNSによる広報や電子申込システムの活用に取り組んでいる。また、吹田市人権啓発推進協議会の地区委員会の活動において、より幅広い年齢層の参加を得られるように工夫を行う必要がある。			

2	所管 室課	人権政策室	事業名	人権推進事業	
事業概要					
人権擁護活動、人権施策推進					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
(1) 人権擁護委員会による人権相談件数 令和3年度…8件、令和2年度…6件、令和元年度…5件		決算額（千円）	356	453	
(2) 人権擁護委員会による人権教室実施回数 令和3年度…58回、令和2年度…12回、令和元年度…17回		一般財源の比率（％）	100.0	100.0	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 令和4年度に5年に1回の市民意識調査を実施する。
法務大臣から委嘱された人権擁護委員が、市民の基本的人権が侵害されるような場合に、速やかにその救済のための措置を取るとともに、市民からの人権に係る様々な問題について相談を受けている。また、人権擁護委員が小・中学校を訪問し、人権課題をテーマに講演する人権教室を実施することで子供たちへの人権啓発にも取り組んでいる。		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			
		人権擁護委員の活動をさらに充実させるために、委員の増員の検討も必要である。			

	所管 室課	事業名			
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
					☐ 効率性
					☐ 公平性
			☐ 持続可能性		
			今後の実施計画 の方向性・内容		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名